

月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

# えくてびあん

〈EKUTEBIAN-VOL.2, JUNE 1985-EKUTEBIAN〉

6



まい あーと・パッチワーク by 上山智江子



えくてびあん  
レポート  
カラオケ

# えくてびあんだ賞

うた びだ びん  
歌う門には福きたる

〈協力店〉

◆「だんな」 ☎26-0085 ♣「デュエット」 ☎26-1931 ♥「かえん」 ☎27-7525 ♦「カウンテス」 ☎27-3868



「あまのこ」が絶唱  
「あまのこ」で賞を  
勝ち取る



メランコリックに「最高  
のメランコリック」総合格  
技披露



「あまのこ」が絶唱  
「あまのこ」で賞を  
勝ち取る



山崎一人「店の女の子」うっとうしく  
デュエット「今夜は離さない」



早稲田五郎さん「愛の  
あまのこ」  
お店の歌謡さん  
が曲調「おまのこ」  
身代わり「おまのこ」



情熱仲たかに「あまのこ」  
高さんの「あまのこ」  
「あまのこ」



毎日新聞もマツ書「信がに  
うたあまのこ」で賞  
栄冠光輝さん



デュエット「あまのこ」  
おまのこ「あまのこ」



「あまのこ」が絶唱  
「あまのこ」で賞を  
勝ち取る

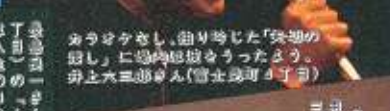


「かえん」で他中学「あまのこ」で賞を  
かえてくれた。高・小野さん「あまのこ」



「あまのこ」が絶唱  
「あまのこ」で賞を  
勝ち取る

こちら「元青年」たち  
の若やいだ声。とし自  
慢・のど自慢カラオケ大会  
(日本チャリティー協会、立  
川市老人クラブ連合会ほか  
主催、於市民会館)には、な  
んと70名をこえる立川人が  
競い、えくてびあんだ賞は最  
高齢者の山島さんの上。



「あまのこ」が絶唱  
「あまのこ」で賞を  
勝ち取る

「あまのこ」が絶唱  
「あまのこ」で賞を  
勝ち取る

「あまのこ」が絶唱  
「あまのこ」で賞を  
勝ち取る

「あまのこ」が絶唱  
「あまのこ」で賞を  
勝ち取る

「あまのこ」が絶唱  
「あまのこ」で賞を  
勝ち取る

「あまのこ」が絶唱  
「あまのこ」で賞を  
勝ち取る

「あまのこ」が絶唱  
「あまのこ」で賞を  
勝ち取る

「あまのこ」が絶唱  
「あまのこ」で賞を  
勝ち取る

「あまのこ」が絶唱  
「あまのこ」で賞を  
勝ち取る

「あまのこ」が絶唱  
「あまのこ」で賞を  
勝ち取る

「あまのこ」が絶唱  
「あまのこ」で賞を  
勝ち取る



# メトロポリス祭

(社)立川青年会議所  
主催 (有)立川メトロポリス祭実行委員会



▲あがったあがった大きな気球

▲ババといっしょでうれしいな



▲外国人もいっしょにミニ列車  
遊園地とほびと味がうり走りここ

初夏の日差しがまぶしい中、多摩メトロポリス祭が盛大に催された。この日、会場となった昭和記念公園は入場無料というサービス付きで、2万5千から3万の人数をみながら、呼びものは、なんといっても熱気球で、一度でいいから乗ってみたいというチビっ子たちが長蛇の列をなして順番を待っていた。ほかにミニ列車、植物名前当てオリエンテーリング、綱引きなどに人気が集まり、なかでも親子ふれ合い工作教室ではナイフの使い方やトンカチのあつかい方など、まさに、ふれ合いのヒトコマがみられた。立川青年会議所のメンバーを中心とした奉仕活動も盛んで、事業収益金はすべてアフリカ飢饉救済義援金にまわされた。

## 立川伝言板

☆劇団「協同」が「豚」を公演  
立川にあるユニークな劇団「協同」をこぞご存知ですか。6月8日午後3時&7時、9日午後1時&4時に「豚」を公演。――今もしかししたら私たちが一匹のブタなのかもしれない――会場はシアター2+1(柴崎町2丁目12)、入場料大人一、三〇〇円、学生一、〇〇〇円。詳しくは劇団協同に(曙町3-48-7、または☎0422-55-0027) ☆心に残るスクリーンミュージックをあなたに……

☆歴史セミナー「日本人のルーツを求めて」が開催される  
このセミナーは6月7日より毎週金曜日、午後7時より中央公民館にて、講師には水野祐氏(早稲田大学教授)があたる。  
☆立川に茶道連盟が発足  
茶道をより市民のものに――と

☆恒例「多摩の写真展」が伊勢丹で開催される  
朝日新聞社、朝日タウンズなどの主催による「多摩の写真展」今回は、店・田畑・文の三つのテーマで七十余点が出品されるもの。6月13日~17日。  
☆ぬいぐるみ人形劇「アルプスの少女ハイジ」「休さん」を劇団木馬座が公演  
ぬいぐるみ人形劇の公演は6月22日、午後2時より、市民会館にて。お問い合わせ、劇団木馬座(☎03-264-0411)  
☆歴史セミナー「日本人のルーツを求めて」が開催される  
このセミナーは6月7日より毎週金曜日、午後7時より中央公民館にて、講師には水野祐氏(早稲田大学教授)があたる。  
☆立川に茶道連盟が発足  
茶道をより市民のものに――と



あたたかな サービスで お迎えします  
みなさまの  
**富士銀行**

カラメケ 余聞  
取材して、モテるカラメケ、大発見、気どらな。実力より少しヘタに歌う。ネアカをよそおう。もともとネアカの人はおさえ気味に、デュエットでは女性にハナを。一流の歌手たるホコリと、三流歌手の真意を胸に、ハハ、キマテ、レコーダー!

の願いをこめて六派が力を合わせて連盟を結成、あらたな活動へと歩を進めた。立川市文化連盟にも加入し、お茶会のみならず広く文化事業にたずさわっていききたいと意気さかん。会長に、裏千家の岩田宗味さん。  
☆日本の夏はコットンがさわやか  
コットン専門店COTTON FRIEND(錦町2-1-24、☎22-7277)は木綿生地各種、袋もの、ハンドメイドの服、洋裁材料などが豊富。センスあふれる楽しいお店へ、ちよつと立ち寄ってみたら?



表紙は語る  
今月、パッチワークで、ウォール・ポケットを作ってください。さつた上山智江子さんは開口一番「好きなんです、手仕事が好き」と語る。メルヘン人形は教えている程の腕まえ、いま砂川公民館でやっているパッチワークのグループは沙見かつ子先生というすばらしい先生に恵まれ、仲間たちと和気あいあいの雰囲気の中で楽しくやっています。心に描いたイメージに到達したときの喜びは、口では表現できないほど。しかし、作品の大半は「ひとにあげてしまおう」とも。  
▼砂川文化会「パッチワークの会」連絡先・辻けい子さん(☎36-6582)

真如苑だより  
はつきりしない天候の今月ですが、いかがお暮しですか。一度、真如苑へ行って参拝だけでもしたいという方が増えていると聞きます。胸の中がスーッとすることもありません。今月もおこしください。  
●日時 6月22日(土) 午後2時から4時まで  
●御本尊、真如宝物館のご案内

立川の花ごぶし  
山内美郷  
私がごぶしの花を初めて知ったのは、六年ほどまえ、友達と上越のスキー場へ行った時のことです。その年は春の訪れが早く、もうゲレンデのあたりには黒い土が顔を覗かせていました。リフト小屋もその長い足をニョッキリとむき出し、気の早い山頂の食堂も店をたたんでいました。雪どけの雪が落ちる音と、その雪が集まってできたせせらぎが沢へ向かって走る音が、妙に気ぜわしく耳に響きました。

立川クイズ  
昔なつかしい写真の丸ポスト。最近ではめずらしいものとなりましたが多摩地区にはまだ少し残っています。さて立川市内にはいつ、いくつこの丸ポストがあるのでしょうか。  
①7個 ②13個 ③24個 ④36個  
(答えは7月号)



梅雨  
豆事典  
えくてびあん  
ジメジメした梅雨の季節がやってきます。なぜ「梅雨」と書いてツユと言ったのでしょうか?一説には物がしめり、くさるところからツユ(漬)の意味で、またちょうど梅の実が熟する時期に当り、梅が漬ゆ、ということから梅雨(ツユ)と言ったようになったとか。  
ちなみに古代の人々は六月のことを水無月(ミナツキ)と呼びました。

カラメケ 余聞  
取材して、モテるカラメケ、大発見、気どらな。実力より少しヘタに歌う。ネアカをよそおう。もともとネアカの人はおさえ気味に、デュエットでは女性にハナを。一流の歌手たるホコリと、三流歌手の真意を胸に、ハハ、キマテ、レコーダー!

立川の花ごぶし  
山内美郷  
私がごぶしの花を初めて知ったのは、六年ほどまえ、友達と上越のスキー場へ行った時のことです。その年は春の訪れが早く、もうゲレンデのあたりには黒い土が顔を覗かせていました。リフト小屋もその長い足をニョッキリとむき出し、気の早い山頂の食堂も店をたたんでいました。雪どけの雪が落ちる音と、その雪が集まってできたせせらぎが沢へ向かって走る音が、妙に気ぜわしく耳に響きました。



梅雨  
豆事典  
えくてびあん  
ジメジメした梅雨の季節がやってきます。なぜ「梅雨」と書いてツユと言ったのでしょうか?一説には物がしめり、くさるところからツユ(漬)の意味で、またちょうど梅の実が熟する時期に当り、梅が漬ゆ、ということから梅雨(ツユ)と言ったようになったとか。  
ちなみに古代の人々は六月のことを水無月(ミナツキ)と呼びました。

えくてびあん 第11号  
昭和六十年六月五日 発行  
発行所 えくてびあん編集工房  
東京都立川市柴崎町2-4-11  
フラインビルディング 3F  
電話 〇四二五〇〇82  
編集人 立井啓介  
発行人 沖野嘉男  
印刷所 株式会社立川印刷所

編纂室から  
●カラオケが国民的ゴラクに定着して久しい。いろいろと新しい装置が開発されて、歌手たちの気をそそる。願わくば、カラオケ・ロボットにならぬよう。●上手だけがカラオケ世界のチャンピオンではあるまい。耳にこごちよいオンチというのたままに、いるもんです。一夜の座席を心得ておられる、なかなかのもんです。●早いもので、来月号で創刊一周年になります。一年間、ご愛読を心から感謝申し上げます。これを期に、新しい企画を盛り込むと同時に、夏に向けてなにか、ふさわしい付録なども考えております。おたのしみに。梅雨をふきとばして、くれぬ新企画はないかしら。●さみだれをあつめて、えくてびあん(編集) 青葉典子 五十嵐えり 岡野子 加賀桂子 神山清子 藤川理 藤丸純子 玉野眞直 (写真) 天野武男 吉田英治 スタジオ209

立川クイズ  
昔なつかしい写真の丸ポスト。最近ではめずらしいものとなりましたが多摩地区にはまだ少し残っています。さて立川市内にはいつ、いくつこの丸ポストがあるのでしょうか。  
①7個 ②13個 ③24個 ④36個  
(答えは7月号)

梅雨  
豆事典  
えくてびあん  
ジメジメした梅雨の季節がやってきます。なぜ「梅雨」と書いてツユと言ったのでしょうか?一説には物がしめり、くさるところからツユ(漬)の意味で、またちょうど梅の実が熟する時期に当り、梅が漬ゆ、ということから梅雨(ツユ)と言ったようになったとか。  
ちなみに古代の人々は六月のことを水無月(ミナツキ)と呼びました。





立川にこんな素晴らしいサロンがあるつと  
ほユメおもいませんでした。北口にあります  
「時代舎」さんで、同好の志が集まって音を  
楽しむ、音楽のダイゴ味といえるでしょう。  
私は主にドイツを中心としたヨーロッパが舞  
台ですので、日本で歌う機会よりもあちらの  
方がはるかに多いのです。レコードもドイツ  
ではじめてポリドールからだしていたたぎ、  
歌詞はもちろんドイツ語、私事でいえば家内  
もドイツ人です。しばらく「日本離れ」をし  
ておりましたが、こうして久しぶりの故国で  
歌える感激は、ちよつと忘れられないもので  
す。立川で一タ、シューベルトの「さすらい」  
や「セレナーデ」を歌った思い出をもって、

ドイツへ帰ってゆ  
きます。また聴い  
ていただける日が  
あればよろしく。

パリトン Paris Toun  
山本 英典 Yamamoto Eiden

